



和田マーケットでたき火を楽しむ

令和6年3月定例会終わる

こんなことが決まりました	2
当初予算審査	6
委員会審査	7
市政を問う（一般質問）	8



「マチイロ」アプリでスマホからも
議会だよりをご覧いただけます。



iOS



Android

三次市議会

検索



可決された条例

◆三次市手数料徴収条例の一部を改正する条例(2件) **全員一致**

◆三次市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例等の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市定住住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市地域集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 **賛成多数**

◆三次市老人ホーム入所判定委員会設置条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市介護保険条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市福祉保健センター設置及び管理条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のため効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市介護保険法に基づく指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市こどもの室内遊び場設置及び管理条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市放課後児童クラブ設置及び管理条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市公共下水道条例の一部を改正する条例 **賛成多数**

◆三次市健康ふれあい施設管理運営基金条例を廃止する条例 **賛成多数**

◆三次市健康ふれあい施設設置及び管理条例等を廃止する条例 **賛成多数**

◆三次市議会基本条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市議会委員会条例の一部を改正する条例 **全員一致**

◆三次市総合計画の策定について **全員一致**

◆三次市過疎地域持続的発展計画の変更について **全員一致**

◆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について **全員一致**

◆市道路線の認定、廃止及び変更について **全員一致**

◆財産の無償貸付について **賛成多数**

◆動産の買入れの契約について **全員一致**

◆三次市公益通報審査会委員の委嘱の同意を求めることについて(2件) **全員一致**

◆三次市公平委員会委員の選任の同意を求めることについて **全員一致**

◆人権擁護委員の候補者の推薦について(4件) **全員一致**

◆三次市教育長の任命の同意を求めることについて **全員一致**

◆三次市教育委員会委員の任命の同意を求めることについて **全員一致**

◆三次市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について **全員一致**

その他の議案・報告

◆専決処分報告について(損害賠償の額を定めることについて)

請 願

◆三次市健康ふれあい施設管理運営基金を株式会社君田トエンティワンの負債返済等に使用しないことを求めることについて

賛成少数で不採択

意見書

◆水田活用の直接支払交付金における制度見直しの中止等を求める意見書

全員一致

◆政治資金規正法に係る疑惑の徹底説明と再発防止を求める意見書

全員一致

予 算

◆令和6年度三次市一般会計予算

全員一致

◆令和6年度三次市国民健康保険特別会計予算

賛成多数

◆令和6年度三次市診療所特別会計予算

全員一致

◆令和6年度三次市介護保険特別会計予算

全員一致

◆令和6年度三次市後期高齢者医療特別会計予算

全員一致

◆令和6年度三次市土地取得特別会計予算

全員一致

◆令和6年度三次市病院事業会計予算

全員一致

◆令和6年度三次市下水道事業会計予算

賛成多数

◆令和5年度三次市一般会計補正予算(第8号)

全員一致

◆令和5年度三次市一般会計補正予算(第9号)

全員一致

◆令和5年度三次市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

全員一致

◆令和5年度三次市診療所特別会計補正予算(第2号)

全員一致

◆令和5年度三次市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

全員一致

◆令和5年度三次市土地取得特別会計補正予算(第3号)

全員一致

◆令和5年度三次市病院事業会計補正予算(第3号)

全員一致



議案の内容はこちら



意見書等はこちら

3月定例会 審議結果 (全員一致以外のもの)

○…賛成 ×…反対

区 分	会派	ともえ				清友会			明日への風			真正会			会派 未来		公明党	日本共産党								
		結果	小田	新家	弓掛	藤井	月橋	穴戸	保実	山村	重信	山田	掛田	藤岡	徳岡	増田	杉原	齊木	鈴木	横光	竹原	大森	新田	黒木	中原	伊藤
議案第24号 三次市国民健康保険税条例の一部を改正する条例(案)	可決 (賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×
請願第1号 三次市健康ふれあい施設管理運営基金を株式会社君田トエンティワンの負債返済等に使用しないことを求めることについて	不採択 (賛成少数)	×	×	×	×	×	○	○	議長	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○
議案第37号 三次市公共下水道条例の一部を改正する条例(案)	可決 (賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×
議案第38号 三次市健康ふれあい施設管理運営基金条例を廃止する条例(案)	可決 (賛成多数)	○	○	○	○	○	×	×	議長	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
議案第43号 三次市健康ふれあい施設設置及び管理条例等を廃止する条例(案)	可決 (賛成多数)	○	○	○	○	○	×	×	議長	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
議案第44号 財産の無償貸付について	可決 (賛成多数)	○	○	○	○	○	×	×	議長	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×
議案第2号 令和6年度三次市国民健康保険特別会計予算(案)	可決 (賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠席	×	○	○	×
議案第8号 令和6年度三次市下水道事業会計予算(案)	可決 (賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠席	×	○	○	×
議案第10号 令和5年度三次市一般会計補正予算(第9号)(案)【議員提出修正案】	否決 (賛成少数)	×	×	×	×	×	○	○	議長	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠席	○	×	×	○

討論

案号
議第24号
三次市国民健康保険条例の一部を改正する条例(案)

反対 伊藤議員

物価高騰の中で収入は上がらず、公共料金も値上げされている。その上、社会保障制度である国民健康保険税も値上げされるとなると、市民にさらなる負担を強いることになる。

賛成 藤井議員

この度の税率改正は、国保制度の安定的運営を図るため、やむを得ない処置として設定されたものである。医療行為の停滞は避けなければならない。

反対 竹原議員

今後の計画も明らかにならないまま、市民に急激な税率負担を強いられることになる。今後どうなるのか、市民負担がどうなるのか、しっかりと計画を立てるべきだ。

議第1号
三次市健康ふれあい施設管理運営基金を株式会社君田トエンティワンの負債返済等に使用しないことを求めることについて

反対 新築議員

多くの市民が、君田温泉の早期回復を願っている気持ちというのは、非常に強いものであると考える。そのためにも、現状の清算をスムーズに行っていくことが大前提ではないか。

賛成 保実議員

赤字経営の責任は棚上げし、なし崩しの基金を借金の返済に充当することは、到底許されることではない。

反対 横光議員

請願内容に大きな矛盾がある。請願の趣旨はどこにあるのかも疑問である。

賛成 重信議員

解散に至った経緯が不明確であり、到底理解できない。

案号
議第37号
三次市公共下水道条例の一部を改正する条例(案)

反対 伊藤議員

市民に負担を押し付けて環境を守らせようとすることは、公共性を投げ捨てることに繋がる。ましてやこの物価高騰の中、納得できるものではない。

賛成 横光議員

一般会計からの基準外繰入金で経営をしている実態であり、補填の縮減を図る上でも、下水道使用料の改定は必要であると考ええる。

反対 山田議員

この基金は、使用目的を定めた目的基金である。君田温泉施設が現存し、基金の残がある限りは、条例を設置し続けなければならない。

賛成 杉原議員

基金の成り立ちを考えると、基金の設置目的を失ったという執行部の説明は理解できるものであり、基金条例を廃止し、雑入として一般会計に繰り入れることは適当と判断をする。

案号
議第43号
三次市健康ふれあい施設設置及び管理条例等を廃止する条例(案)

反対 穴戸議員

地域の活性化、就労の場の確保等が根底にあって、この施設は整備されており、非常に公共性が高い施設である。これを普通財産に移行するなどあつてはならない。

賛成 月橋議員

君田温泉が早期に再開し、運営事業者の創意工夫を最大限に生かした運営が図られることで、再び三次の宝となり、にぎわいが戻ることを期待している。

案号
議第44号
財産の無償貸付について

反対 穴戸議員

内容云々ではなく、行政が先んじて行い、後から議決をさせるという議会を軽視したやり方はおかしい。

賛成 鈴木議員

複数の運営形態が考えられるが、市が一定の関与をする、貸与が適当であると判断する。

案号
議第2号
令和6年度三次市国民健康保険特別会計予算(案)

反対 伊藤議員

市民を守る最後のとりでになるのが地方自治体である。市独自に対応しなければ、国保世帯はさらに負担が増えることになり、国保世帯自体が破綻してしまう。

賛成 横光議員

被保険者の生活を考え、保険料率を抑えた予算であり、これ以上税率を抑えようとすれば、一般会計からの繰り入れが必要となる。これは他の医療保

険加入者の納められた税金が、国民健康保険の負担の一部を強いるということであり、あるべき姿ではない。

案号
議第8号
令和6年度三次市下水道事業会計予算(案)

反対 伊藤議員

市民を守ることが自治体の役割であり、この値上げによって負担が増すということとは許されるものではないと考える。

賛成 横光議員

市民生活を考えると心苦しい面はあるが、三次市の財政状況を考えると、この公共料金の値上げをした予算編成というのは必要であると考ええる。

議案第10号「令和5年度三次市一般会計補正予算(第9号)(案)」に対する修正案が提出されました。

提案理由

債務超過に陥って破産状態となり、解散した株式会社君田トエンティワンへの補助金は、公益上必要であるの

か。地域活性化や産業振興になるのか。そういう類のものではないことは明白であり、本来は経営責任を問われなければならない。執行機関が経営責任を明らかにしないままに、負債整理に市の交付金を充てることはやめるべきである。

案号
議第10号
令和5年度三次市一般会計補正予算(第9号)(案)に対する修正案

反対 小田議員

執行部も、第3セクターという特殊な形での管理運営に対して責任を感じているという意味合いで、今回の提案がなされているのだと捉えている。これは観光施設として早期再開を望むものであり、その選択をした執行部の案に賛成する。

賛成 新田議員

地域の振興に役立つ、維持、さらに発展をめざすための補助でなければならぬといったときに、清算ということに使うのはおかしい。

令和5年度 一般会計予算の補正(第8号)

補正額	1億8,322万8千円追加
総額	410億9,322万7千円
■使い道	
・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業	1億8,322万8千円
(住民税均等割のみ課税世帯等臨時特別給付金給付事業)	
《繰越明許費》追加	1件
住民税均等割のみ課税世帯等臨時特別給付金給付事業	

令和5年度 一般会計予算の補正(第9号)

補正額	8億613万4千円追加
総額	418億9,936万1千円
■主な使い道	
・線上償還元金	9億9,980万5千円
・職員人件費(退職手当)	2億7,658万6千円
・基金積立	1億9,405万1千円
・株式会社君田トエンティワン清算支援補助金	1億1,540万円
・市道等除雪事業	1億 200万円
・生活保護扶助経費	4,542万円
・保育業務委託料	2,316万1千円
・消防団員退職報償金	2,131万2千円
・流域治水事業(ため池監視システム)	1,600万円
・国民健康保険特別会計繰出金	1,249万5千円
・施設型給付費及び地域型保育給付費	1,187万3千円
	ほか

《継続費》変更	1件	学校給食調理場整備事業
《繰越明許費》追加	36件	防犯カメラ移設事業ほか
変更	7件	農地耕作条件改善事業ほか
《債務負担行為》追加	3件	東光保育所委託業務ほか
変更	2件	保育所給食配送委託業務ほか
《地方債》変更	13件	地域情報化推進事業ほか

特別会計3月補正予算	4会計	
【国民健康保険特別会計】	▲ 141万1千円	
【診療所特別会計】	0円(財源補正)	
【後期高齢者医療特別会計】	▲ 1,008万6千円	
【土地取得特別会計】	▲ 437万7千円	
《繰越明許費》	1件	公共用地先行取得事業
《地方債》	変更 1件	公共用地先行取得事業

企業会計3月補正予算	1会計
【病院事業会計】	
業務の予定量(患者数)	
収益的収入	1億8,564万6千円
収益的支出	1億8,560万4千円
たな卸資産購入限度額	

3月補正予算の概要についてはこちら



令和6年度予算が決まりました

一般会計

384億1,000万円

(対前年度比1.0% 3億6,714万7千円の増)

特別会計

合計額 135億7,559万2千円

(対前年比 ▲1.7% 2億2,779万6千円の減)

国民健康保険特別会計	54億 258万円
診療所特別会計	3億1,682万2千円
介護保険特別会計	68億3,929万9千円
後期高齢者医療特別会計	10億 132万円
土地取得特別会計	1,557万1千円

令和6年度
当初予算の
概要については
こちら



公営企業会計

合計額 130億4,671万4千円 (収益的収支) 26億1,202万5千円 (資本的収支)

(合計額は各事業の収支を比較し、大きい数値を計上)

病院事業会計	収益的収入	108億8,069万5千円	収益的支出	108億7,979万4千円
	資本的収入	5億5,521万5千円	資本的支出	9億1,225万5千円
下水道事業会計	収益的収入	21億6,601万9千円	収益的支出	21億6,601万9千円
	資本的収入	10億6,111万6千円	資本的支出	16億9,977万円

総括質疑を行いました

～ 会派代表による総括質疑項目 ～

ともえ

新家 良和 委員

① 令和6年度一般会計当初予算(案)の規模等について

② 財政指標等について

③ 予算概要「政策4」豊かな心と生きがいについて

清友会

重信 好範 委員

① 「三次市教育大綱・三次市教育振興基本計画」について

② 「三次市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画」について

明日への風

藤岡 一弘 委員

① 令和6年度の財政運営について

② 「共創」のまちづくりについて

③ 職員の働き方改革と確保について

真正会

横光 春市 委員

① 第3次三次市総合計画推進のための人口減少に対する予算配分について

② 財政状況の厳しさの認識について

③ 周辺部の過疎対策事業について

④ 職員をどの地位で招聘し、新しい風の期待は何か

⑤ 渋谷キューズの活用について

会派未来

竹原 孝剛 委員

① 今後の財政運営について

② 海士町の職員採用について

予算審議

（総括質疑）

予算決算常任委員会に審査付託となった議案14件について、3月6日から13日まで委員会を開催しました。

【付託議案】

議案第1号 令和6年度三次市一般会計予算（案） ほか13件

【審査結果】

議案第2号及び8号以外 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

議案第10号修正案 賛成少数で否決

議案第2号及び8号 賛成多数をもって原案のとおり可決

議案第10号「令和5年度三次市一般会計補正予算（第9号）」（案）に対する修正案が提出されました。

（提案理由）

この基金の目的である、施設機能の維持向上と適切な管理運営を行うことは、持続可能な施設とする旧君田村の意思である。君田温泉が三次市の宝であると言うのであればなおさらのこと、この基金の存在は重要であるものと考ええる。財政支援を、君田温泉の早期再開に結びつけて言われているが、全く別次元のことであり、清

算と再開は別に行われるべきである。

【議案に対する意見】

修正案に反対の意見として、「君田温泉を中心とした君田町にぎわいが早期に復活することが大切であると考ええるため、今回の予算は必要である」「この補助金がなければ、君田温泉の再開の遅れが想定される。基金の取崩しによって清算をスムーズに行うことが必要である」などが出されました。

次に、修正案に賛成の意見としては、「三次市の貴重な観光資源として、君田温泉をしっかり守り残していつてもらいたい。そのためには、基金を残していくべきである」「地元住民の意思を尊重し、基金を残すことで君田温泉を守ることが必要である」などが出されました。

採決の結果、賛成少数で修正案は否決となり、議案第10号は原案のとおり可決してよいものと決しました。

（※紙面の都合上、意見の要旨を掲載しています。）

予算決算常任委員長報告

【議案に対する指摘及び意見】

総務分科会からは、「三次市健康ふれあい施設管理運営基金」については、基金の目的が無くなっていない中、基金を廃止し一般財源として支出することは許されないと意見や、基金を一般財源へ戻し、綺麗な形で清算し、次の事業者にきちんと対応していくという考え方はあると思うとの意見が出されました。

「みよし運動公園運動広場改修事業」については、陳情の内容が実現できたことは評価できる。完成後は、適切な管理運営によって、これまで以上に多くの方に利用していただき、有効活用されることを期待するとの報告がありました。

教育民生分科会からは、「いじめ防止・不登校対策推進事業」については、いじめ、不登校問題に対応するには、教員一人一人の指導力向上を図るための研修や学校や家庭だけでなく地域と連携して取り組む必要がある。今後、個に応じた支援を充実させるためには、外部専門家の人材の確保、教員のための研修等の予算の確保が必要であり、更なる取組の充実を図りたいとの報告がありました。

「みよし結芽人育成事業」については、3つのプロジェクト学習を進めることによつて、「未来を創る当事者」を育てる教育を研究・推進していくという取組は評価できるものであり、全児童、全生徒及び全教職員がプ

ロジェクトの恩恵が受けられるように事業が進められることが必要であるとの報告がされました。

「十日市小学校等改築事業」については、基本構想・基本計画の策定に向けては、周辺施設の在り方や小・中学校の規模及び配置の適正化等を踏まえ、児童・生徒や地域住民などの幅広い意見を反映させたいと、将来を見据えた計画となるよう進められることが必要であるとの報告がありました。

産業建設分科会からは、「君田トエンティワン清算支援補助事業」については、君田温泉の早期再開のために、一連の清算支援補助を行うことはやむを得ないと考えるが、株式会社君田トエンティワンとしての経営責任を何らかの形で果たすべきではないかとの意見が出されました。

「君田温泉施設改修支援補助金（債務負担行為）」については、10年間で1億円の補助金が計上されているが、安定経営に資する執行となるよう十分なチェックが必要であるとの報告がありました。

（※紙面の都合上、意見の要旨を掲載しています。）

委員長報告の全文はこちら



委員会審査

各常任委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となった議案等について、3月1日～5日に各委員会を開催しました。

産業建設常任委員会

3月1日開催

【付託議案】

議案第35号「三次市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例(案)」ほか6議案

請願第1号「三次市健康ふれあい施設管理運営基金を株式会社君田トエンティワンの負債返済等に使用しないことを求めることについて」

【審査結果】

議案第35号ほか2議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

議案第37号 賛成多数により原案のとおり可決

議案第38号ほか2議案 原案のとおり可決(可否同数であったため委員長において可否を採決)

請願第1号 不採択(可否同数であったため委員長において可否を採決)

【請願に対する意見】

請願第1号について、不採択とすべきであるとして述べられた内容としては、再開時期に遅れは生じないのか。清算時期がどのようになるのかを心配していたが、再開もスムーズにいくのではないかと理解をしたところである。市民、町民

が願っているのは、一刻も早い君田温泉の再開ではないだろうか。この基金条例を廃止し、株式会社君田トエンティワンの返済の一部に充当し、なおかつ、株主へ返還をすることによって、清算がスムーズに行われ、1日も早い君田温泉の再開を含む施設の再利用ができるのではないかと。との意見が出されました。

次に、採択すべきであるとして述べられた内容としては、君田温泉の経営上の様々な課題や、取締役会や臨時総会等の課題についての説明を聞き、まだまだ我々がしっかりと検証しなければならぬ課題もたくさんあるように感じている。この請願の願意は、君田の宝である君田温泉をこれから先も君田町民、あるいは町の活性化、振興のために大事にしてもらいたい。たとえ事業者が変わったとしても、しっかりと支えていくぞという意味



採決の様子(産業建設常任委員会)

で基金の存続を願っておられるものと捉えている。清算等に当たっての法的な課題や手続、あるいは工夫について、まだまだ議論の余地はあるのではないかと考える。との意見が出されました。(※紙面の都合上、意見の要旨を掲載していません。)

総務常任委員会

3月4日開催

【付託議案】

議案第39号「三次市総合計画の策定について」ほか9議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する意見】

議案第19号「三次市定住住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)」については、当該定住住宅が市有地にならないため譲渡や購入の希望に答えられないということは、定住という目的への効果が限定的であり、耐用年数の経過及び老朽化を理由とする廃止はやむを得ないものと考えられる。今後、市有住宅の定住に資する活用について検討を進めるとともに、入退去への丁寧な対応をお願いするものである。

議案第20号「三次市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例(案)」については、情報セキュリティポリシー遵守の状況確認にこれからも徹底して取り組まなければならない。

議案第39号については、幅広い世代、特に子どもたちもまちづくりに参画できるように、わかりやすいリーフレットの作成等によって総合計画の広報を進められたい。そして、今後の総合計画の推進にあつては、人口減少対策にかかる施策の展開、将来を見据えた財政運営に特に注力願うものである。

教育民生常任委員会

3月5日開催

【付託議案】

議案第24号「三次市国民健康保険税条例の一部を改正する条例(案)」ほか10議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する指摘及び意見】

議案第24号については、今回の改正は、国民健康保険財政調整基金を最大限投入して税率の上昇を抑えたものであり、基金の残高も1,200万円程度まで減少する見込みとなることから、今後、ますます国保財政の厳しい状況が予想される。国保財政の現状や税率改正の必要性について、市民に対する説明を丁寧に行っていたかと共に、引き続き、国、県に対して、公費負担割合の引き上げなど、国民健康保険税率の抑制に資する措置を講じられるよう要望されたい。

各委員長
報告の全文は
こちら





質問1 市街地での移動にAIオンデマンドバスを活用してはどうか

タクシーとバスの間形であるオンデマンドバスをDXの取組にてAIを駆使した上で、市街地に導入してはどうか。また、国土交通省補助事業である「地域交通共創モデル実証プロジェクト」を活用して、積極的に新たな形の交通手段を開発してはどうか。

答弁1 AIオンデマンドバスは引き続き調査・研究し、財源についても参考にしていく

矢野地域振興部長

AIオンデマンドバスが本市に適しているか、デマンドバスで対応可能ではないか、高齢者が利用可能かなど、引き続き調査・研究を進めていく。国の補助事業は、新たな取組を行う場合の有効な財源として参考にしていきたい。

質問2 三次市立十日市小・中学校等の建替えはどのように進めていくのか

学校や保育所は、将来のまちづくりを考えると非常に重要な施設である。

今回の建替え事業は十日市保育所・十日市小中学校ほか、全てを建替えしていくのか。また、小中学校は避難施設として地域防災の拠点であるが、浸水想定区域での建替えに課題はないのか。

答弁2 周辺公的施設の将来的な更新を見据えたエリアの在り方を検討していく

宮脇教育次長

周辺にある保育所などの公的施設との連携や、将来的な更新を見据えたエリアの今後の在り方を検討していく必要があると考える。また、整備に当たっては地域住民や子どもたちの安全を第一に考え、できる限りハード面の整備を行うとともに、教職員等の防災意識の醸成や適切な避難行動についてもしっかりと考えていきたい。



AI オンデマンドバス (広島市佐伯区五日市)



質問1 支所の新体制について、担当となる副市長の考えは

新年度から支所の体制は、支所での部長級を廃止し、これまで部長級だった全7支所長に課長級を充て、副市長直轄の体制となるが、支所の機能や行政サービスを低下させることなく効率的な業務執行体制をどう実現していくのか。

答弁1 支所長が責任を持って支所業務に取り組み

細美副市長

新たな体制においても支所長が責任を持って支所業務に取り組み、部局を越える場合には、副市長から必要な指示等を行いながら業務を進めていく。支所が副市長直轄になることよって、大きな変化は生じないと考えている。

質問2 JR芸備線の利用促進を協議する新しい任意協議会への対応は

JR芸備線全線が対象となる、国の再構築協議会とは別に、広島―三次間に焦点を当てて利便性の向上策などを検討す



カブ列車ラストラン (芸備線)

る任意協議会が新しく設けられる。この任意協議会では、課題だけでなく、バスとの連携や観光など、幅広いテーマを想定して、今後の協議を進めるとのことだが、本市は、どのような考えを持って参加するのか。

答弁2 公共交通ネットワークの在り方について検討していく

矢野地域振興部長

協議会構成市でJR芸備線の現状分析や沿線地域の特性を踏まえ、駅を活用したまちづくりや地域資源の活用などを議論し、利便性向上に資する機能強化策など、公共交通ネットワークの在り方について検討していくようになると考えている。



現在の市立三次中央病院



質問1 市立三次中央病院の総事業費

新市立三次中央病院の総事業費が概算で250億5千万円になることが示された。この総事業費を超えないように実施していくのか。或いは、建替え基本計画(案)の内容を実現するために総事業費を超えても、上振れを容認するのかを問う。

答弁1 事業費の削減に努めていくよう考えている

片岡市民病院部事務部長
現段階で基本計画の事業費を上限として設定はしていないが、基本計画、実施計画、建設工事と段階的に事業を進めていく中で、国や県へ補助金の要望を積極的に言うなど、財源の確保に努めつつ、事業費の削減に努めていくよう考えている。

質問2 中長期的な視点で農業振興を

世界的な食糧需給の変化と生産の不安定化により、我が国においても食糧確保が難しいとの危機感が増大している。国も新しい食糧関連法を検討しており、このことを踏まえ、中長期的な視点で農業を産業政策として振興を図るべきと思うが考えは。

答弁2 引き続き取組を進めていく

福岡市長
今後も中長期的な視点に立ちながら、定住に結びつく新規農業者の育成・確保、あるいはICTを活用したスマート農業の導入による省力化、効率化、さらには薬用作物の産地化の推進など、持続可能な地域農業の確立をめざし、引き続き取組を進めていく。



質問1 住民自治組織への取組は

住民自治組織への補助金・交付金の在り方を令和5年度にどこをどのように見直し、どう改定されたのか。独立した機能的で実行力のある自主防災組織を確立してはどうか。

答弁1-1 地域の実情に応じた取組をよりスムーズに行えるよう見直ししていく

矢野地域振興部長
各住民自治組織を訪問して意見を伺い、ご理解を頂いた中で、段階的に見直ししてきた。令和5年度からは人件費の確保と運営費の基本的な考え方や仕組みの見直しを行っており、できるだけ活用しやすいものにしていくと考えている。

答弁1-2 引き続き、機能強化への支援、協力を行っていく

山田危機管理監
自主防災組織が実行力のある機能的な組織となることが望ましいと考えており、訓練等を企画される際には実効性の

ある訓練となるよう、地域の防災士とも連携して適切なアドバイスや協力を行ってきている。共助がしっかりと機能するよう、引き続き、機能強化への支援、協力を行っていく。

質問2 中山間地域の農業の課題解決を

三次市の農業を取りまく課題解決に国の「農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業」は有効であり、活用を推進し参画を促進してはどうか。

答弁2 地域住民による十分な話し合いが必要

中廣産業振興部長
高齢化や人口減少が顕著な中山間地域で農業をはじめ、集落機能を維持していく上で有効な取組と考える。取組を進めていく過程においては、地域によって状況が異なるため、地域住民による十分な話し合いが必要であると考えており、市や農協などの関係機関も、その話し合いに参画していく必要があると考える。



はこ農にかかったイノシシ



質問1 小・中学校の統合計画の方針を示せ

令和4年に学校規模及び配置の適正化の基本方針が策定されたものの、何の進展もない。統合の対象となる学校が6校もあるのに、子供達のための教育環境について真剣に考えているとは思えない。地域の反発を恐れ、何もしていないのではないか。本気でやる気があるのか。

答弁1 今後も基本方針に基づき積極的に取り組んでいく

迫田教育長
適正化の検討を始める時期の目安である、全学年が完全複式となった小学校の保護者あるいは地域住民へは、積極的に情報提供を行ってきた。児童生徒一人一人に豊かな教育環境を保障するという観点から、継続して関係する学校の保護者、地域住民との意見交換を行っているところであり、適正化に取り組んでいる。

質問2 新しい市立三次中央病院に漢方外来の設置を

古来より、東洋には漢方や鍼灸など素晴らしい医学がある。西洋医学のみでは原因を突き止められず、解決し得ない疾患に苦しんでいる方々に漢方診療など、東洋医学も取り入れた日本医療のめざすべき新しい未来を三次市から示しては。

答弁2 新規開設を実現するため連携・要請していく

福岡市長
市立三次中央病院の基本計画の中にも漢方外来についての計画を記しているが、新規開設を実現していくためには、広島大学の協力というのは欠かせない状況であるため、開設に向けて引き続き大学へ要請しながら連携を深めていく。



診療にあたる広島大学病院漢方診療センター医師



質問1 共創によるまちづくりをどうすすめるか

三次市総合計画において、都市機能の一極集中ではなく、地域の特性をいかした拠点性の維持を掲げられているが、市長の掲げる共創のまちづくりを市内全体にどう進めていくのか。市の見解を伺う。

答弁1 住み慣れた地域に住み続ける、持続可能なまちをめざす

福岡市長
これからの人口減少社会というのは、誰も経験したことがない、今までのやり方は通用しない手探りの未来になると予想されている。新たなアイデアや多様なつながり、地域やまちの特性や個性を生かして、新たな魅力や付加価値の創出、共創による地域づくり、まちづくりを進めることが重要であると考えている。それらの魅力をつなぎ、発信することで、三次にしかない魅力の向上につなげていきたい。

質問2 地域づくりに学校が果たす役割は

第3次三次市総合計画「子どもの未来応援」に、豊かな教育環境を確保するために学校の適正配置に取り組むとしているが、豊かな教育環境をどうとらえるか。持続可能な地域づくりの視点から、学校が存在することには大きな意義がある。市教委の見解を伺う。

答弁2 将来に向けて育てていく子どもたちの環境を考えていく

迫田教育長
児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身につけさせる教育を十分に進めるための環境が求められると認識している。



笑顔あふれる学習発表会

質問 1 人権尊重のまちづくりとは



ひと・かがやき・みよしプランを作成し取り組んでいるが、社会情勢が変化している中、多様性やジェンダー平等の課題について記述がないが、どう取り組むのか。人権尊重については30年前にも質問しているが、十分取り組めていないように感じる。条例制定も含め、具体的な取組が必要ではないか。

答弁 1 共に活躍できる社会づくりを基本的な考えとしている

矢野地域振興部長

令和5年1月から多様性やジェンダー平等の取組として、パートナーシップ宣言制度を開始し、自分らしく生きることが出来る社会の実現をめざした取組を進めている。人権尊重の理念に基づき、啓発活動など地道に一步ずつ取組を進めていく。

質問 2 ひとりも子育て政策の強化を

少子化対策の異次元の具体策は何か。経済的支援として学校給食の無償化を実施すべきではないか。また、市内に若者や子どもたちの拠点となる場所の設置を

考えていないか。

答弁 2-1 安心して出産、子育てができる環境整備を図っていく

立花福祉保健部長

本市においては、他の自治体に先駆けて「ネウボラみよし」を開設し、切れ目のない相談支援体制を構築している。今後も安心して出産、子育てができる環境整備の取組を図っていく。

松長子育て支援部長

令和6年4月に全ての妊産婦、子ども及び子育て家庭が気軽に相談できる相談支援機関として「こども家庭センター」を設置する。母子保健と児童福祉の両機能の一体的な運営により支援の強化を図り、個々の家庭に応じた支援に取り組みしていく。

答弁 2-2 国が示す方向性を注視していく

宮脇教育次長

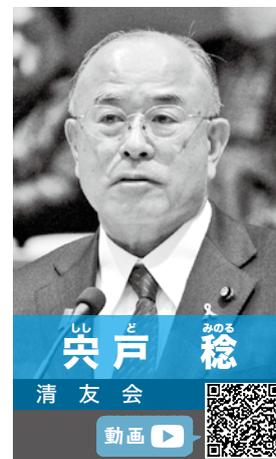
給食費の無償化については、国が示す方向性を注視していくとともに、財政支援についても引き続き国に要望していく。

答弁 2-3 共創の手がかりを探っていく

矢野地域振興部長

現時点で市内への交流拠点の設置は想定していないが、多様な人たちが交流し、新たなアイデアや事業を生み出す共創施設「SHIBUYA QWS（渋谷キューズ）」の活用等により、新たな交流のきっかけをつくり、移住・定住につながるしていきたいと考えている。

質問 1 君田温泉運営会社の清算はどうか



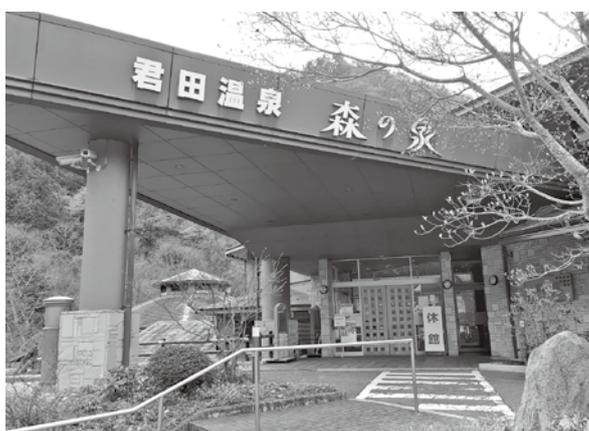
清算に至った理由の明確化を行うことなく、うやむやなままに清算業務で「施設機能の維持向上と適正な管理運営の財源に充てる」とした基金を原資に負債整理を行うことはあってはならないものと考えられるがいかがか。ましてやこの基金条例を廃止し、一般財源化し一企業の負債整理の支援補助金として支出することは法的に問題とならないのか。

答弁 1 基金を原資として、清算に充てていく

中廣産業振興部長

君田温泉は、旧君田村が公共施設である君田温泉施設を整備し、官民協力の下で設立した第三セクターの株式会社君田トエンティワンが経営することで発生した会社の利益の一部を旧君田村に寄附、これを基金として積立て、施設の維持修繕を行っていくという一連の方法で運営されてきた。これを合併後の三次市に引き継いだら、8月19日の臨時株主総会で

会社の解散が決定になったことで、この運営モデルは成り立たなくなり、この基金条例の設置目的も失ったと受け止めている。したがって、基金条例を廃止し、株式会社君田トエンティワンの清算に基金を原資として一般財源から補助金として支出するという考え方である。
なお、一連の清算業務については、顧問弁護士に確認し、法的に問題ないという見解を頂いている。



休館中の君田温泉森の泉



質問1 新病院開設までの整備計画は

本年2月から、病院内ではMRI環境が整備されていくと聞いているが、その整備状況について伺う。また、新病院の建設計画が進んでいく中で、建替えまでの5年間に更新の必要な設備については、どのように取り組んでいく考えか。

答弁1 計画的に進めている

片岡市民病院部事務部長

病棟のMRI整備工事は、昨年の12月から工事に着手し、2月20日に設置が完了した。利用は3月1日から開始している。また、新病院建設までに更新すべき設備として直流電源装置を昨年度更新しており、今後の大きな設備更新は予定されていない。

質問2 病棟看護師の労働状況改善は

病棟以外の看護師が病棟で応援勤務をしているようであるが、どういった経緯

で応援勤務が行われているのか。また、透析室と4階東病棟の看護体制が一元化の方向性も検討されているようだが、看護師への負担が増えていくのではないか。

答弁2 看護師の負担軽減につながるような取組を進めていく

片岡市民病院部事務部長

夜勤が可能な看護師が不足しているため、夜勤が可能な看護業務の経験がある看護師に、一時的な支援として病棟業務に当たってもらった。再度病棟業務を覚える必要があったため、負担が生じたと感じている。また、病棟と透析室の一元化については、看護師の数も含め、新病院に向けて十分に他院の状況を調査し、運用が可能かどうかをしっかりと確認した上で進めていく。



看護師研修の様子



質問1 生ゴミの堆肥化の取組を

三次市のゴミ処理基本計画の基本理念として、循環型社会「地球にやさしいエコなまち」を柱とし、具体的な取組として「廃棄物のリサイクル活動の推進・付加価値化」が示されている。平成27年度で廃止となった、生ゴミ処理機の購入補助事業を復活できないか問う。

答弁1 環境型社会の取組の一つであると考える

上谷市民部長

近年はコンポストを設置することでイノシシ等の鳥獣被害につながることから、撤去される家庭が増えている。循環型社会の取組の一つであると考え、補助事業としての再開は今のところ考えていない。

質問2 持続可能な農業の取組を

第2期三次市農業振興プランには、持続可能な地域農業の確立に努めていくと

ある。中小規模農家への支援や後継者不足の農業法人への対応、トレタみよしの野菜売場面積の拡大の考えはないか。

答弁2 効率的な経営の確立に向けた仕組みづくりに取り組んでいく

中廣産業振興部長

中小規模の農家、兼業農家も含め地域農業の多様な担い手と位置付け、各種支援を行っている。農業法人においても経営基盤の強化を図るとともに、JA等の関係機関と連携しながら、法人間の連携や機械の共同利用など、効率的な経営の確立に向けた仕組みづくりに取り組んでいる。

また、トレタみよしの売場の面積拡大については、生産者や消費者のニーズに対応したサービスの創出が可能となるよう、周辺施設との機能分担も含め、今後、一体的に整備を検討していきたい。



甲奴町の農地風景

議会運営委員会委員長報告（要旨）

1. 常任委員会の活性化及び学習機会の拡充について

◇委員会の独自性を持って行う付託議案の調査・研究の取組等「常任委員会の活性化及び学習機会の拡充について」及びオンラインの方法による委員会の開催に係る委員会条例及び会議規則の一部改正の提案等の中間報告を行った。第14回の委員会では、実際にオンラインの方法により開催し、運営要綱による実施が可能であることを確認した。

2. 議会基本条例の条項の見直し等について

◇議会基本条例に基づく、任期中の議会・議員活動検証方法を構築すべく、検証方法に関する実施要領を作成し、議会・議員の評価検証を行った。これは議員活動を市民に周知する機会でもあると捉

え、有権者に約束した公約に対する取組を「見える化」しようとする本市議会初めての試みである。

3. 議員定数削減に伴う諸課題への対応について

◇議員定数が22名になることから、各常任委員会等の定数について議論を行った。この経過を踏まえて、各委員会の定数が提案されることになると思われる。



委員長報告の
全文はこちら



議会のうごき

2024（令和6）年2月1日～4月30日

2月

- 2日 総合的な学習の時間発表会（広島県立三次中学校）
- 5日 議会運営委員会、全員協議会
- 6日 教育民生常任委員会、産業建設常任委員会
- 7日 市立三次中央病院建替等調査特別委員会
- 9日 発表会（広島県立三次中学校）
- 13日 議会運営協議会、全員協議会
- 16日 市立三次中央病院建替等調査特別委員会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 3月定例会本会議、予算決算常任委員会、全員協議会
- 26日 3月定例会本会議（一般質問）、総務常任委員会、広報広聴常任委員会
- 27日 3月定例会本会議（一般質問）、議会運営委員会
- 28日 3月定例会本会議（一般質問）
- 29日 3常任委員会（議案の調査研究）

3月

- 1日 産業建設常任委員会
- 4日 連合審査会、総務常任委員会
- 5日 教育民生常任委員会
- 6日～7日 予算決算常任委員会
- 8日 議会運営委員会、予算決算常任委員会
- 11日～13日 予算決算常任委員会
- 15日 議会運営委員会、3月定例会本会議、全員協議会、議会運営委員会

4月

- 14日 市議会議員一般選挙
- 16日 議員全体会議、広報広聴常任委員会
- 19日 会派代表者会議
- 26日 会派代表者会議
- 30日 会派代表者会議

市立三次中央病院建替等 調査特別委員会委員長報告 （要旨）

◇審査の経過

市立三次中央病院建替基本構想検討委員会で検討された内容について調査を行い、脳神経内科の開設、全室個室化の可能性等を問う意見が出され、これらについては基本計画の策定に当たり更に検討を求めることとした。また、基本計画のパブリックコメントに対する執行部の見解については、新規開設が想定される総合診療科、漢方外来などへの期待等、意見が出された。

◇委員会で出された意見のまとめ

- 利用者しやすい病院…市民の拠り所となるべく、防災の観点も含め、ソフト面においても一層の充実を求める。
- 環境にやさしい病院…医療環境の変化への柔軟な対応等に努め環境にやさしい病院経営が一層推進されることを求める。
- 職員にやさしい病院…医療従事者がより自らの成長を実感できる組織となるよう取組が進められることを求める。



各委員長報告の
全文はこちら



4月14日⑧の市議会議員一般選挙により 当選された議員を紹介します。

(当選回数が多い順・年齢順 ※令和6年4月18日現在)

おだ しんじ
小田 伸次 66

当選回数 7回



やす さね おさむ
保実 治 69

当選回数 6回



しし ど みのる
宍戸 稔 69

当選回数 6回



やまむら えみこ
山村恵美子 68

当選回数 4回



すず きみ ゆき
鈴木深由希 65

当選回数 4回



よこ みつ はるいち
横光 春市 71

当選回数 3回



いとう よしのり
伊藤 芳則 68

当選回数 3回



ゆみ かけ げん
弓掛 元 64

当選回数 3回



ふじ いけん いちろう
藤井憲一郎 56

当選回数 3回



しげ のぶ よしのり
重信 好範 58

当選回数 3回



にっ た しんいち
新田 真一 66

当選回数 3回



ふじ おか かずひろ
藤岡 一弘 33

当選回数 3回



かけだ かつひこ
掛田 勝彦 59

当選回数 2回



とく おか まき
徳岡 真紀 50

当選回数 2回



つき はし かずふみ
月橋 寿文 48

当選回数 2回



ますだ ともひろ
増田 誠宏 48

当選回数 2回



なか はら ひでき
中原 秀樹 47

当選回数 2回



やまだ しんいちろう
山田真一郎 46

当選回数 2回



くに しげ きよたか
國重 清隆 66

当選回数 1回



さい み かつひろ
細美 克浩 60

当選回数 1回



たけだ けい
竹田 恵 55

当選回数 1回



かた おか ひろふみ
片岡 宏文 50

当選回数 1回





きりこちゃん
三次観光イメージキャラクター

次回の定例会は**6月14日(金)**に開会する予定です。

請願・陳情の提出は、**6月3日(月) 正午まで**

請願・陳情 市政についての意見や要望を直接市議会に提出すること。
議員の紹介のあるものを請願と言います。

いいね
みよし

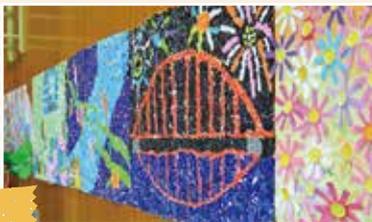
広報広聴常任委員が市内で撮影した、
お気に入りの1枚をご紹介します



鬼は外



県立三次中発表会



卒業式



アントレーヌ授賞式

三次小「光の閉校式」



あ と が き

今回をもって現議員による議会だよりは最後となります。

思い起こせば、初めての新型コロナウイルス感染症が忍び寄る中での選挙戦と議会活動のスタートでした。

初めての議員活動に戸惑いながらも、「市民に身近であるべき市議会とは…」 「市民の十分な理解と関心が得られる市議会とは…」など、さまざまな思いが脳裏を駆け巡った4年でした。

今後、持続可能な地域社会の実現に当たっては、市民の多様な意見を反映しながら合意形成を行う市議会の役割は一層重要になります。

市議会は直面する多くの課題を一丸となってこれに取り組み、今後あるべき市議会や市議会議員の在り方を模索しながら、市民のみなさんと共に歩んでいきたいものと切望します。 (山田 真一郎)

注目スポット



たわ せ ばん じん 田和瀬三十番神

神野瀬川上流の君田町櫃田では、三十日間を一日交代で守護する「三十番神」のことを、通称「番神さん」と呼び、幼児の神様として長きに渡り地域で親しまれています。

この「番神さん」には、これまで子どもの健やかな成長を願い、子どもが誕生した際には、各種人形に氏名・生年月日を書き込み祈願奉納がされてきました。

(中原 秀樹)